

# といろ通信

2018年02月

第67号(如月)

皆様、こんにちは！というスタッフの川澤岳也です！今月もという通信の時間となりました！どうぞよろしくお願います！では、始めにという近況から・・・。ちょっと時間が前後しちゃうんですが、去年の12月18・19日に、京都でひきこもり支援をされている山田孝明さんが、3名の当事者を伴ってというを始め高知県のひきこもり支援現場を視察し、支援者と意見交換を行いました。その際に来高された当事者の方からというにクリスマスカードが届きました。内容を紹介させていただきます。

(1)高知県というのみなさまへ  
(当事者Aさん)

僕は、一度高知っていう所がどんな場所かすごく興味があって僕の

中では土佐の酒やカツオのタタキや一番の絶景は桂浜の海と坂本竜馬の銅像を見れたのが最高でした！もちろん土佐のお酒やカツオのタタキはうまかったけど一番は、山本さんやお母さん方の料理は、いままでで一番おいしかったです！また食べに行きたいです。やっぱり僕の中では、猪鍋もよかったです。下田さんや他のみなさまといろいろお話ができてよかったです。これからもというのみなさんと交流しに高知に遊びに行きたいです。又、山本さんの料理をまた食べにいきたいです。よろしくお願います。

(2)「といろ」の皆様へ  
(当事者Bさん)

今回の訪問は山田さんの一声で、正直言いますと、あまり気分は乗らなかつたのですが、良い意味で見事に期待を裏切られました。何より印象的だったのは、当事者の方、また山本さんはじめ、お母さんの口から一言も、「ちゃんと働きなさい」とか「もうこの年なんだ

から」などと責められなかつたことです。またお母さん方も非常に辛い境遇に置かれながら、僕自身今まで味わったことのない何とも言えない温かさを感じました。本当に心から感謝しています。帰ってきて調べて初めて知ったことですが、龍馬のお墓は京都オレンジの会から1キロの「京都霊山護国神社」にあるそうですね。皆さんと私たちは歴史的にも深いつながりがあると信じます。これからも末長いお付き合いをよろしくお願います。

おいしかった料理

1位 猪鍋(初めて食べたけど美味)

2位 みそ汁(かつおだし最高)

3位 カレーライス(かくし味

何か入れました?)

本当おいしかった。

その他にもなます、おにぎり、ピ

ーフン、ゆで卵・・・、結局

全部おいしかったです。冗談抜き

に34年間生きてきて、こんなに

食事で心が癒されたことはありま

せん。また懲りずに作って下さい。

・・・まかせなさい！・・・

以上、昨年12月18・19日にというに来所された京都のひきこもり当事者の方々からのお便りでした。私は今回の山田さん来高の時、19日にというに行きました。高知の若者(当事者)の中では主に下田つきゆびさんが18・19日両日にわたって対応してくれました。

さて、次の話に行ってみたいと思います。こちらの写真をご覧ください！



そうです、ご覧の通り高知市のかるぼーとです。年が明けて1月21日、かるぼーとにて鳴門教育大学特任教授の森田洋司先生による公開講演会が開かれました！

ではもう一枚写真行ってみましょう！講演会の一幕です。



ちょっと写真が分かりにくくて、メンナサイ！演壇にいらっしやるのが森田洋司先生です。講演で印象に残っている所と言えば、森田先生が特に力を入れてご説明下さった、「減点」と「加点」社会という対比です。（ここで言う「減点社会」とは、日本の学校文化を元にして成り立つ日本社会が人間をテストで満点の100点を基準にして評価する傾向があり、例えば100点満点中95点を取っている生徒がいたとしても、取得した95点ではなく、足りなかつた5点について厳しく批判するということです。そのことを外国の、

出来ないことが出来るようになっていったらそれだけで高く評価したり、アメリカのように先生が3者面談で生徒の「できる」所をたくさん並べたりする文化を「加点社会」と呼んで比較対照され、日本では他者評価が基本的に減点法でなされていることが生きづらい世の中を作っている一因ではないか？という問題提起がなされました。（文章が固くてゴメンナサイ！川澤の頭が混乱気味なのが原因です）。この日の講演で印象に残っている所を後日になって振り返ってみれば、あえて一番記事に書きやすいくところを挙げるなら上記の点なのですが、以前KHJ家族会の全国大会が山形県の米沢市で行われた時にも森田先生が分かりやすい話をされていたことが頭に焼き付いていて、職責を全うするという意識だけではこなせない仕事なのではないか？と思いました。ぶっちゃけた話（とは言っても十数年前に新聞に載っていた話ですが）をすると、大学の先生には結構当たり外れがあつて、どういふことかと言つと、大学とは「研究」機関であつて、「教育」機関ではないそうなのです。だから大学の教官が「研究」のプロではあつても、

講演などの仕事のプロであるとは限らない、という話があつて、そういう大学側の免責を求め、かつ大学を権威化する発言の名残がいまだに社会に影響力を及ぼしているのかな？とか思っていました。が、少なくとも森田先生に関して言えばそのことは当てはまらないように思いました。まあ私も世間的に有名な学者の弟子を名乗る指導教官からアカハラに遭い、大学を中退せざるを得なかつたんですけど、もっと社会貢献を意識している人の話を聞いてみたいと思つています。今回の講演の懇親会には出席しなかつたんですけど、人との巡り合せにはタイミングだけではなく、偶然に見える必然が働いているということも知っています。もっとも、頭の中だけで解つていても本当には理解できてなくて、もう少し今回の森田先生との繋がりについても「もっとやれることあつたんじゃないか？」とか思つたりしちゃうんですけどね。また森田先生の話が聞きたいです。

TEL・FAXは  
088-821-9519  
メールアドレス  
[qay3dr9k@globe.ocn.ne.jp](mailto:qay3dr9k@globe.ocn.ne.jp)  
または  
[skatoiro1016@gmail.com](mailto:skatoiro1016@gmail.com)  
お便り、お待ちしております。  
相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。  
というは月・水・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています。もちろん、アボなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただくと助かります。というの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。前には小さな畑も借りています。来所者が多い日も少ない日もありますので気楽に覗きにおいでくれたらと思います。開所している時間内ならいつ来ていつ帰つても構いません。お菓子と飲み物（コーヒー・麦茶・ジュース）があります。漫画コーナーには「ジョジョの奇妙な冒険」文庫版 第一部・第二部と第四部が揃っています。漫画版「君たちはどう生きるか」もあります！

＜では皆様、また来月！＞